

工学融合科目 A (Interdisciplinary Seminar of Engineering A)

【科目コード】 42990914

【担当教員】 工学府専攻長

【学部・学科, 単位区分, 単位数】

【開講学期】 , 【クラス】 01, 【対象学年】 年

【曜日・時限】 , 【講義室】

【更新日】 2021/09/08 (水)

授業の概要

本講義では、自コース以外の分野について幅広い科学技術に関する知識とアプローチ法を修得し、細分化された特定の学問領域を超えた学際的なアプローチのしかたや課題解決能力等を身に付けさせる。また、一部に英語等外国語の講演会等を用意することで、自領域以外の幅広い分野の専門英語などを積極的に学ぶ姿勢を身に付けさせることも目的とする。

カリキュラムにおけるこの授業の位置付け

授業項目

- (1) 指導教員と相談のうえ、授業計画を作成
- (2)-(7) 講演会等の聴講と報告書作成
- (8) 各講演会等のレポートの指導教員への提出および指導教員による口頭試問

授業の進め方

- ・工学融合科目として指定された学内の講演会等の中から、自コース以外の分野に関する講演会等を指導教員と相談のうえ選択し、履修する。
- ・社会人学生に限り、自ら探した自コース以外の分野の講演会等を加えることができる。ただし、参加する講演会等が融合科目にふさわしい内容であることを事前に指導教員に相談して確認する。

授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）

成績評価の基準および評価方法

報告書（各講演会等の開催日時・場所、題目、講演概要、各講演内容に関する意見等）および口頭試問によって総合的に評価する。

授業外学習（予習・復習）の指示

予め関連の資料収集を行い、実施方法に関して指導教員とよく相談すること。

キーワード

教科書

必要に応じて、各講演担当教員が指示する。

参考書

必要に応じて、各講演担当教員が指示する。

備考

博士後期課程 「工学融合科目」 実践メニュー (<https://www.tobata.kyutech.ac.jp/gr-school/gr-menu/>)を確認のうえ、履修すること。

電子メールアドレス

主指導教員に連絡すること

工学融合科目 B (Interdisciplinary Seminar of Engineering B)

【科目コード】 42990915

【担当教員】 工学府専攻長

【学部・学科, 単位区分, 単位数】

【開講学期】 , 【クラス】 01, 【対象学年】 年

【曜日・時限】 , 【講義室】

【更新日】 2021/09/08 (水)

授業の概要

本講義では、自コース以外の分野について幅広い科学技術に関する知識とアプローチ法を修得し、細分化された特定の学問領域を超えた学際的なアプローチのしかたや課題解決能力等を身に付けさせる。また、一部に英語等外国語の講演会等を用意することで、自領域以外の幅広い分野の専門英語などを積極的に学ぶ姿勢を身に付けさせることも目的とする。

カリキュラムにおけるこの授業の位置付け

授業項目

- (1) 指導教員と相談のうえ、授業計画を作成
- (2)-(7) 講演会等の聴講と報告書作成
- (8) 各講演会等のレポートの指導教員への提出および指導教員による口頭試問

授業の進め方

- ・工学融合科目として指定された学内の講演会等の中から、自コース以外の分野に関する講演会等を指導教員と相談のうえ選択し、履修する。
- ・社会人学生に限り、自ら探した自コース以外の分野の講演会等を加えることができる。ただし、参加する講演会等が融合科目にふさわしい内容であることを事前に指導教員に相談して確認する。

授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）

成績評価の基準および評価方法

報告書（各講演会等の開催日時・場所、題目、講演概要、各講演内容に関する意見等）および口頭試問によって総合的に評価する。

授業外学習（予習・復習）の指示

予め関連の資料収集を行い、実施方法に関して指導教員とよく相談すること。

キーワード

教科書

必要に応じて、各講演担当教員が指示する。

参考書

必要に応じて、各講演担当教員が指示する。

備考

博士後期課程 「工学融合科目」 実践メニュー (<https://www.tobata.kyutech.ac.jp/gr-school/gr-menu/>)を確認のうえ、履修すること。

電子メールアドレス

主指導教員に連絡すること